

平成25年行政事業レビューシート							(復興庁)			
事業名	被災地における石綿によるばく露に関する調査		担当部局庁	復興庁		作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏				
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災による被災地においては、建築物の倒壊や膨大な災害廃棄物処理等により、石綿による将来の健康被害が懸念されている。石綿による健康被害はばく露から数十年後に発症するものであり、震災後の被災地における石綿ばく露の状況を把握しておくことは将来のリスク管理のために重要と考えられる。このため、現地で被災者に聞き取り調査等を行うことにより、被災地での石綿ばく露の現状を把握する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災による被災地における石綿ばく露の現状を把握するため、現地で被災者に対して聞き取り調査等を行った。調査対象地域及び対象者は、国土交通省の調査をもとに、東北3県(岩手県・宮城県・福島県)における津波の浸水率等割合が高い20市町村を調査対象地域に選定し、仮設住宅居住者(1市町村当たり1仮設住宅程度)を調査対象者として聞き取り調査等を行った。現地調査の結果、2年度(平成23、24年度)で1,664名を訪問し、652名(約39%)から回答を得て被災地での石綿ばく露の現状を把握した。									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		補正予算	括弧内は環境省が計上した同様の事業(平成24年行政事業レビューシート087環境モニタリング調査の一部)の予算額を参考記載しているもの		(環境省計上)	15				
		繰越し等		15	-					
		計		-	[ - ]					
	執行額		10	10						
	執行率(%)		66.7%	66.7%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)		
	本事業は、被災地における石綿によるばく露に関する調査であり、その効果を定量的に示す指標は存在しないため記載できない。			成果実績		-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込		
	調査回答者数 調査対象(平成24年度) 調査対象市町村数:岩手県4市町、宮城県6市町 調査対象地点数(仮設住宅)・戸数:15地点・2,068戸 訪問戸数:1,162戸			活動実績 (当初見込み)		-	326	326	-	
単位当たりコスト	32,144(円/調査回答者数)			算出根拠	該当事業執行予算/調査回答者数					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	計									

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費 必要投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	震災後の被災地における石綿ばく露の状況を把握しておくことは将来のリスク管理のために重要である。また、全体計画は国が策定し、その計画に基づいた調査地域の自治体との調整等を経て、事業者が現地の聞き取り調査等を実施し、得られた結果は有識者からなる検討会で検討することとしており、役割分担は明確である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業 の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	相手方業者の選定にあたっては、一般競争入札を行っており、競争性は確保されている。 なお、落札率73.7%と低かったため、不用額が多くなっている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○		
事業 の有 効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	現地調査の結果、目標としていた件数を上回る回答を得て被災地での石綿ばく露の現状を把握した。また、2年度分の成果物は環境省のホームページに掲載する等公表等に活用している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—	
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点 検 結 果	東日本大震災による震災後の被災地における石綿ばく露の状況を把握し将来のリスク管理に資するために、適切に事業を執行した。			
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
—	震災後の被災地における石綿ばく露の状況把握という目標を達成しており、平成25年度以降予算計上をしていない。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
—	震災後の被災地における石綿ばく露の状況把握という目標を達成しており、平成25年度以降予算計上をしていない。			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年		平成23年	平成24年	
			123	

復興庁  
15百万円



環境省  
10百万円



【請負・一般競争入札(総合評価)】

A.エム・アール・アイリサーチアソ  
チエイツ(株)

被災地における石綿によるばく  
露に関する調査

資金の流れ  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補足  
する)(単位:百万  
円)

A.エム・アール・アイリサーチアソチエイツ(株)

費目	使 途	金 額 (百万円)
計		10

費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

本業務は請負業務であり、成果物の対価として支払を行うものであるため、精算報告書の提出を要しないが、国の支出の透明性を図るため、任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることはできなかった。

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイリサーチアソチエイツ(株)	被災地における石綿によるばく露に関する調査	10	2	73.7